



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 株式会社ジーテクノサイエンス
 コード番号 4584 URL <https://www.g-gts.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷 匡治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 栄 靖雄

TEL 03 - 6222 - 9547

四半期報告書提出予定日 2020年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	733		932		953		6,892	
2019年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,916百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	249.32	
2019年3月期第3四半期		

(注) 1. 2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載してありません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載してありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,656	1,904	50.7
2019年3月期			

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,853百万円 2019年3月期 百万円

(注) 2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値については記載してありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050		1,220		1,260		7,260		262.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は主として年次での業績管理を行っていることから、通期の業績予想のみ記載しております。また、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載してありません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社セルテクノロジー、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	27,646,986 株	2019年3月期	20,342,446 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	92 株	2019年3月期	株
------------	------	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	27,644,916 株	2019年3月期3Q	19,347,025 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。具体的には、バイオ後続品事業で安定的な収益基盤を確立させつつ、バイオ新薬事業及び再生医療における細胞治療分野を軸とした新規バイオ事業で成長性を追求してまいります。

当第3四半期連結累計期間における各事業の進捗状況は以下のとおりであります。

① バイオ後続品事業

富士製薬工業(株)と持田製薬(株)による好中球減少症治療薬「フィルグラスチムBS」の販売が順調に推移しており、当社の経営の安定感は継続しております。これに続く品目として、(株)三和化学研究所と共同開発を行っていたダルベポエチンアルファバイオ後続品が、当社によって2019年11月27日より販売開始されました。今後、当社は同製品の売上高に応じたロイヤリティを受領することとなります。さらに、バイオ後続品事業をより拡充すべく取り組んだ結果、同12月に癸巳化成(株)とアフリベルセプトバイオシミラーにかかる共同開発契約の締結に至り、開発をスタートさせました。

② バイオ新薬事業

次世代型抗体医薬品等の研究開発を進めた結果、新規メカニズムに基づく新生血管形成を阻害する抗RAMP2抗体を創出することに成功し、眼疾患の治療並びにがん領域における抗腫瘍効果を期待できる医薬品候補として、2017年9月に当該抗体に関する特許を出願し、2018年9月には国際特許出願を行いました。今後は、知的財産権の確保を図りながら当該医薬品候補抗体の研究開発を進め、製薬企業へのライセンスアウトを目指してまいります。また、2020年1月には、がん細胞内侵入能力を有する抗体を用いた抗がん剤の開発を目的として札幌医科大学との共同研究契約、同じくがん細胞殺傷効果を有する新たな抗体の取得を目的としてMabGenesis(株)との共同研究契約をそれぞれ締結いたしました。

③ 新規バイオ事業

2019年4月に歯の内部に存在する歯髄と呼ばれる細胞を用いた幹細胞を利用して新しい医療技術や再生医療等製品の開発を行っている(株)セルテクノロジーを株式交換により完全子会社化いたしました。今後は、従前より取り組んでいる(株)日本再生医療の心臓内幹細胞プロジェクトに加えて、(株)セルテクノロジーの歯髄幹細胞を基に当社の再生医療事業における細胞治療プラットフォームを確立することで、新たな製品及び治療法の開発等、様々な事業展開を図ってまいります。このうち、既存パイプラインの開発を推進する傍ら、さらなる事業拡充を目的に大学等の研究機関と歯髄幹細胞を活用した共同研究について鋭意協議した結果、2019年11月に昭和大学と歯髄幹細胞を用いた再生医療の事業化の可能性をより広げる目的の産学提携契約を、2020年1月に東京都医学総合研究所、名古屋大学、及び東京医科歯科大学との歯髄幹細胞を活用した脳性まひの治療法創出に向けた四者共同研究契約をそれぞれ締結いたしました。さらには(株)アイルと業務提携契約を締結し、同社の再生医療の研究事業における技術・ノウハウ・人財・物流ネットワーク等を活用した歯髄幹細胞及びその分泌物等の臨床応用に向けた事業展開の検討をスタートさせるなど、多方面において新規バイオ事業を展開しております。これらに加えて「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」としてIT、医療サービス、診断や医療機器などにもアプローチしながら新たな治療法の提供に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は733,008千円、営業損失は932,220千円、経常損失は953,957千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,892,342千円となりました。

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、3,656,482千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金2,482,411千円、売掛金340,827千円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券347,679千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,752,229千円となりました。その主な内訳は、転換社債型新株予約権付社債600,000千円、長期借入金600,000千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,904,252千円となりました。その主な内訳は、資本金611,711千円、資本剰余金9,917,311千円、利益剰余金△8,653,190千円であります。

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,482,411
売掛金	340,827
仕掛品	35,230
その他	379,594
流動資産合計	3,238,063
固定資産	
有形固定資産	1,952
無形固定資産	66
投資その他の資産	416,399
固定資産合計	418,418
資産合計	3,656,482
負債の部	
流動負債	
買掛金	66,970
短期借入金	25,000
未払法人税等	34,343
その他	402,238
流動負債合計	528,552
固定負債	
転換社債型新株予約権付社債	600,000
長期借入金	600,000
退職給付に係る負債	19,230
その他	4,446
固定負債合計	1,223,676
負債合計	1,752,229
純資産の部	
株主資本	
資本金	611,711
資本剰余金	9,917,311
利益剰余金	△8,653,190
自己株式	△73
株主資本合計	1,875,758
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△22,622
その他の包括利益累計額合計	△22,622
新株予約権	51,116
純資産合計	1,904,252
負債純資産合計	3,656,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	733,008
売上原価	443,850
売上総利益	289,157
販売費及び一般管理費	
研究開発費	685,251
その他	536,126
販売費及び一般管理費合計	1,221,377
営業損失(△)	△932,220
営業外収益	
受取利息	88
雑収入	1,356
営業外収益合計	1,444
営業外費用	
支払利息	1,158
支払手数料	18,000
為替差損	1,402
雑損失	2,620
営業外費用合計	23,181
経常損失(△)	△953,957
特別利益	
投資有価証券売却益	4,419
特別利益合計	4,419
特別損失	
固定資産除却損	854
減損損失	5,938,405
特別損失合計	5,939,259
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,888,797
法人税、住民税及び事業税	3,545
法人税等合計	3,545
四半期純損失(△)	△6,892,342
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,892,342

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△6,892,342
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△24,233
その他の包括利益合計	△24,233
四半期包括利益	△6,916,576
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,916,576
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年4月1日付で、当社を株式交換完全親会社、(株)セルテクノロジーを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、資本準備金が6,032,615千円増加し、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使による増加を含め、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が611,711千円、資本準備金が9,917,311千円となっております。

なお、当該企業結合により発生したのれんの減損損失を含む親会社株主に帰属する四半期純損失6,892,342千円を計上したことにより、当第3四半期連結会計期間末における株主資本の合計は1,875,758千円となりました。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2019年4月1日を効力発生日とする株式交換による(株)セルテクノロジーの完全子会社化に伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、(株)セルテクノロジーは、当社の特定子会社に該当してしております。